

九州大学のシンボル

松を図案化した九州大学のシンボルの歴史は1949年にさかのぼります。同年、学生バッチの図案公募が行われました。図案審査にあたっては、学校側、学生側同数の委員からなる審査会を開いて検討し、松の葉をモチーフとした作品が採択され、1950年2月10日から使用されることになりました。

現在のデザインは、この伝統的なシンボルをより使いやすく、より現代にマッチしたかたちにリデザインし、2004年に商標登録を行い、正式シンボルとして使用しています。



半世紀以上も前に行われた図案公募には、70人の学生から153点の応募がありました。応募作品の題材は、松の木や葉、松かさや樹皮といった松を図案化したものが多く、当時病院地区から箱崎地区まで一面に広がっていた松原が多く、多くの学生の心に残っていたことがうかがわれます。採択された、当時農学部農業土木学科3年だった宗好秀氏の図案も松の葉、実を題材としたものでした。